

令和 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立晴明丘小学校

令和 7 年 4 月

大阪市立晴明丘小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標 **※令和 4 年度当初に令和 3 年度までの実態を踏まえて設定****現状と課題**

本校は、持続可能な社会を担う子どもを育てる推進拠点校であるユネスコスクールとして認定され 10 年がたつ。子どもたちが地域とつながり、世界に目を向け、様々な課題を自分自身の課題として受け止め、解決に向けての取組ができるよう支援を続けてきた。学校教育活動と SDGs（持続可能な開発目標）とを結びつけ、子どもたちは自分たちにできることの発信を続けていく。ユネスコスクールとしての理念を基盤とした教育を継続してきた結果、子どもたちには、身近にある課題を自分自身の課題として捉え、自分たちにできることを実践し、発信していく力が身につきつつある。

以下は、「令和 3 年度全国学力・学習状況調査」「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」「大阪市学力経年調査」の結果から考察される本校の現状と課題である。

① 令和 3 年度全国学力・学習状況調査から見えてきた成果と課題**【各教科】**

3 教科ともに平均正答率は全国よりも上回っている。特に国語科では、昨年度まで研究教科として取り組んできた成果が表れた。平均無回答率も低い水準を保っており、ある程度の学力は身についていると考えられる。しかし、領域別にみると各教科とも苦手な部分があり、**低位層の基礎学力の定着と中間層の学力を伸ばすことが課題である。**

各教科で課題がみられた領域は以下のとおりである。

【国語科】

○話し言葉と書き言葉の違いを理解して回答を選択肢から選んだり、回答の条件を正しく理解して記述したりする問題

○漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く問題

【算数科】

○目的に合った数の処理の仕方を考えたり、割合の仕組みを理解したりする問題

○目的に応じて円グラフを選択して必要な情報を読み取ったり、正三角形の構成の仕方について、正しいプログラムを選んだりする問題

【理科】

○実験に使用する器具の名前や正しい使い方、実験の基本的な方法を問う問題

○観察などで得た結果を他者の気づきの視点で分析して解釈し、自分の考えを持ったり、結果の予想と実験の結果をもとに問題に対するまとめを検討して自分の考えを持ったりすること

低学年からの**基礎学力の積み重ねを大切にし、各学年で身につけなければならない内容を確実に定着させることが課題である。**

【質問紙】

○「自分にはよいところがあると思いますか」に肯定的に回答する児童は 94% であり、自己肯定感が高まっている。また、国語や算数の学習を好きな児童は半数をこえており、「学級の友達との間で話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりしている」と感じている児童は 85% である。これは、学級の係活動や委員会活動、児童会活動などを通

して、各自が達成感を感じたり頑張りを認め合ったりできる場を多く設けたり、日々の学習活動で話し合い活動を積極的に取り入れてきたりした成果であると考える。

一方で、授業で ICT 機器を使用する回数は週 3 回以上が 27%となつており、学習に ICT 機器が有効に活用されるには今後も工夫が必要である。

② 令和 3 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査から見えてきた成果と課題

今年度の結果を見ると、ほとんどの種目で大阪市平均を上回り、合計得点も大阪市・全国の平均を上回った。シャトルランは、男子で 7.36 ポイント、女子で 8.65 ポイント上回つており、これは一週間の総運動時間数と比例していると考える（60 分以上男子 96.7%、女子 83.3%）。一方、男女とも長座体前屈の記録が下回つてゐる。

「運動やスポーツをすることは好きですか」に肯定的に回答する児童を見ると、男子は大阪市の平均を 7.4 ポイント下回つてゐる。また、「体育の授業が楽しい」と感じている人数も、男子のほうが少ないことがわかる。自分なりの目標をたてて運動に取り組んでいるが、運動をすることが生活を明るくする要素になつたり、運動やスポーツが大切なものだと感じたりしている児童は多くない。

今後は、楽しみながら運動に取り組める活動を継続し、「体育の学習が楽しい」と感じられるよう、場の設定や活動内容を工夫したい。また、身体を動かすことが自分たちの生活を明るくすることにつながる、という意識が育つような活動を工夫しながら、体力の向上を目指したい。

③ 大阪市小学校学力経年調査から見えてきた成果と課題

【教科について】

小学校学力経年調査における国語および算数の標準化得点をみると、令和 3 年度 3 年生の国語科以外は 100 を超えている。平均正答率の対全市比を同一母集団で前年度と比較した結果、同じか微増している学年がほとんどであるが、6 年生の国語だけは 0.05 ポイント下がつてゐる。学年が上がるにつれて学力の差が広がらないようにするためにも、今後も個に応じた指導を充実していく必要がある。

【質問紙について】

どの設問に対しても肯定的に回答する児童が多い。同一母集団を経年で見ると、学年が上がるにつれて、自分自身を見つめる目は育ちつつあるが、各教科に関する設問は肯定的な回答は減少傾向にある。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和7年度校内調査の「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」の項目について肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「将来の夢や目標をもっていますか」の項目について肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査の「学級の友だちとの間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができている」の項目について最も肯定的に答える児童の割合を50%以上にする。
- 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」の項目について、最も肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度校内調査の「日々の授業の中で学習者用端末を活用して学習をしている」の項目について「ほぼ毎日」と回答する児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度末教職員アンケートにおいて「校内研修が充実していたか」の項目に肯定的に回答する教職員の割合を80%以上にする。
- 令和7年度校内調査で、児童1人当たりの学校図書館年間貸出冊数を、令和3年度より増加させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

「大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」

※14項目中2以上 ※「○」

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 83.6%以上にする。【令和 6 年度 83.5%】

○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

【令和 6 年度 1.02%】

○校内アンケート「学校は楽しい」に肯定的に回答する児童を前年度と同等程度以上を維持する。【令和 6 年度 89%】

○校内アンケート「学校や学年、学級のために進んで行動した」に肯定的に回答する児童の割合を前年度と同等程度以上を維持する。【令和 6 年度 91%】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

「大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」

※12項目中2以上 ※「○」

○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。

○小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。

○小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83.4%以上にする。【令和 6 年度 83.3%】

○小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80.8%以上にする。【令和 6 年度 80.7%】

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 50%以上にする。【令和 6 年度 46.4%】

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 67.5%以上にする。

【令和 6 年度 67.4%】

○校内アンケート「学習の内容がわかる」に肯定的に回答する児童の割合を前年度と同等程度を維持する。【令和 6 年度 94%】

○校内調査において、児童 1 人当たりの学校図書館年間貸出冊数を、令和 6 年度より増加させる。 【令和 6 年度 4.9. 6 冊 / 1 人 1 月末】

【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く] 【令和 6 年度 4.2%】

○第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 I を満たす教員の割合を 77.2%以上にする。【令和 6 年度 77.1%】

(1 か月の時間外勤務時間が 45 時間を超えない。1 年間の時間外勤務時間が 360 時間を超えない)

3 本年度の自己評価結果の総括

--

(様式2)

大阪市立晴明丘小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
年度目標	状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 83.6%以上にする。【令和6年度 83.5%】</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>【令和6年度 1.02%】</p> <p>○校内アンケート「学校は楽しい」に肯定的に回答する児童を前年度と同等程度以上を維持する。【令和6年度 89%】</p> <p>○校内アンケート「学校や学年、学級のために進んで行動した」に肯定的に回答する児童の割合を前年度と同等程度以上を維持する。【令和6年度 91%】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【(1) 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校は楽しい」と誰もが思えるように、日々の学校生活が充実するよう工夫する。 ・きまりを守り、いじめを許さない風土づくりに努める。 ・防災・減災教育を推進する。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 83.6%以上にする。【令和6年度 83.5%】 ・心の天気は毎日、いじめアンケートは学期に1回以上実施する。 ・学校で認知したいじめについて、解消した割合を 100%にする。 ・避難訓練を計画的に行い、発達段階に応じた防災・減災教育を実施する。 	
<p>取組内容②【(2) 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会・委員会活動において、ユネスコスクールとしての活動を充実させる。 ・互いに認め合い協同できる集団を育成する。 ・発達段階に応じて自尊感情を高める取り組みやキャリア教育を計画的に行う。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内アンケート「学校は楽しい」に肯定的に回答する児童を前年度と同等程度以上を維持する。【令和6年度 89%】 ・校内アンケート「学校や学年、学級のために進んで行動した」に肯定的に回答する児童の割合を前年度と同等程度以上を維持する。【令和6年度 91%】 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

次年度への改善点

(様式2)

大阪市立晴明丘小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況												
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。</p> <p>令和7度年学年 令和6年度結果</p> <table><tbody><tr><td>4年</td><td>国語 1.06(3年生時)</td></tr><tr><td></td><td>算数 1.09(3年生時)</td></tr><tr><td>5年</td><td>国語 1.00(4年生時)</td></tr><tr><td></td><td>算数 0.97(4年生時)</td></tr><tr><td>6年</td><td>国語 1.09(5年生時)</td></tr><tr><td></td><td>算数 1.17(5年生時)</td></tr></tbody></table> <p>○小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83.4%以上にする。【令和6年度 83.3%】</p> <p>○小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80.8%以上にする。【令和6年度 80.7%】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を50%以上にする。【令和6年度 46.4%】</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を67.5%以上にする。【令和6年度 67.4%】</p> <p>○校内アンケート「学習の内容がわかる」に肯定的に回答する児童の割合を前年度と同等程度を維持する。【令和6年度 94%】</p> <p>○校内調査において、児童1人当たりの学校図書館年間貸出冊数を、令和6年度より増加させる。【令和6年度 49.6冊/1人1月末】</p> <p>○校内アンケート「学級の友達と話し合う活動は自分の考えを深めるのに役立ちました。」に最も肯定的に回答する児童を54.1%以上にする。【令和6年度 54%】</p>	4年	国語 1.06(3年生時)		算数 1.09(3年生時)	5年	国語 1.00(4年生時)		算数 0.97(4年生時)	6年	国語 1.09(5年生時)		算数 1.17(5年生時)	
4年	国語 1.06(3年生時)												
	算数 1.09(3年生時)												
5年	国語 1.00(4年生時)												
	算数 0.97(4年生時)												
6年	国語 1.09(5年生時)												
	算数 1.17(5年生時)												

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【(3) 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修を充実させ、教員の指導力を高める取り組みを計画的に実施する。 ・学習環境を整え、わかる授業を実現するためにユニバーサルデザインを取り入れる。 ・個に応じた指導が充実するよう、学習形態を工夫する。 ・学び方がわかる授業のありかたを工夫する。 ・考えを深めたり広めたりするための話し合い活動を取り入れる。 ・年間指導計画に沿って6年間を見通した学習活動を進める。 ・課題に対して自分の考えをもち、適切に表現できるような活動を取り入れる。 ・実験や実習・観察等、体験的な学習の機会を多く取り入れる。 ・読書活動を充実させる。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内アンケート「学習の内容がわかる」に肯定的に回答する児童の割合を前年度と同等程度を維持する。【令和6年度 94%】 ・校内調査において、児童1人当たりの学校図書館年間貸出冊数を、令和5年度より増加させる。【令和6年度 49.6冊/1人1月末】 ・校内アンケート「学級の友達と話し合う活動は自分の考えを深めるのに役立ちました。」に最も肯定的に回答する児童を54.1%以上にする。【令和6年度 54%】 	
<p>取組内容②【(4) 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体の動きや働きに注意を向けながら、ラジオ体操に取り組む。 ・運動委員会を中心に、楽しく体を動かすことができるような活動を工夫して実践する。 ・体育科の学習では、各学年の実態に合わせた学習内容で、場の設定などを工夫する。 ・発達段階に合わせた食に関する指導を行い、食事と体や心の成長の関係について考えられるようにする。 ・養護教諭による保健指導や各学級での保健学習を通して、自分の体に关心を持ち、心と体の健康について考えられるようにする。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を67.5%以上にする。【令和6年度 67.4%】 ・校内アンケート「自分の身体と健康について考えている」に肯定的に回答する児童の割合を前年度と同等程度を維持する。【令和6年度 89%】 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

次年度への改善点

(様式例 2)

大阪市立晴明丘小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50% 以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 I C T 活用が適さない日数を除く〕【令和 6 年度 4.2 %】</p> <p>○第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 I を満たす教員の割合を 77.2% 以上にする。</p> <p>（1か月の時間外勤務時間が 45 時間を超えない。1 年間の時間外勤務時間が 360 時間を超えない）【令和 6 年度 77.1 %】</p> <p>○ゆとりの日の設定を週 1 回以上にする。</p> <p>○学校閉庁日について、夏季休業中は 4 日、冬季休業中は 3 日以上設定する。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【(5) 教育 DX (デジタルトランスフォーメーション)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画に沿ってタブレットを活用する。 ・タブレットの使い方のきまりを守って、学習活動に活用できるよう支援する。 ・学習活動に効果的な ICT 機器の活用について、共通理解を図るために校内研修を実施する。 ・タブレットを活用した個別学習を実施する。 ・タブレットを活用した協同的な学習を実施する。 ・年間計画に沿って情報モラル教育を実施する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50% 以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 I C T 活用が適さない日数を除く〕【令和 6 年度 4.2 %】 	
<p>取組内容②【(6) 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告・連絡・相談を確実に実施し、働き甲斐のある職場の構築に努める。 ・メンター研修を充実させ、ベテランと若手が中堅教員を仲介してつながりあえる、風通しの良い職場を作るよう心掛け、教員の資質を向上させる。 ・ICT 機器を活用し、校務の簡略化を行う。 ・学校行事や会議等を見直し、教職員や児童への負担を軽減する工夫をする。 	

指標

○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を77.2%以上にする。【令和6年度77.1%】

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点